

コ 5 ク 9 ロー 6 サン 3 ハート通信

VOL. 75

竹原運輸株式会社

発行日 平成 29 年 1 月 15 日

★事務所スタッフからの一言



皆様、あけましておめでとうございます。いつもお世話になりありがとうございます。日頃は格別なるご厚意を賜り、心より御礼を申し上げます。今年も宜しくお願い致します。

今年の弊社のテーマは、

「コミュニケーションを増やす」

これは主に乗務員と役員も含めた管理職とのコミュニケーションを密にするという方針です。これには2つの理由があります。

1つ目は、昨年起きた弊社での事故を分析すると、社内でのコミュニケーション不足で起きたであろう事故が多かった。

2つ目は、最近の学术界の研究結果では、パフォーマンスのいいチームとは、優れたリーダーがいるチームでもなく、全員能力が高いチームでもなく、実はチームメンバーの交流が活発でコミュニケーションがいいチームが最も業績が優れていることがわかった。

そこで弊社では、このテーマを今年は最重要視することにしました。やはり商売といえども所詮は「人の営み」である、ということを再認識して今年も皆様にお役に立つ会社になるよう努力して参ります。どうかよろしくお願い致します。

竹原和行



明けましてお目出度うございます。

昨年は皆様から一方ならぬご愛顧を賜りまして、誠に有難うございました。

今年もどこまでも皆様のお役に立つよう、誠心誠意、心を尽くして安全・安心・信頼の輸送を展開してまいる所存でございます。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は創業者 竹原正郎の干支でありましたが、今年の酉年は弊社監査役 竹原計子の干支であります。今月2日に84歳になりました。会社創業から会社を支えてまいりました。現在も自分で車を運転して、元気な姿で時々会社に顔を出しています。

母は事務所に来ると必ず「いつも、ありがとうね」とお客様、全社員に常に感謝の言葉をかけております。社員は尊敬、感謝をこめて「竹原の母」と呼んでいます。有難いことであり、いつまでも元気で会社を守って頂きたいと思っております。

今年も「人づくり」をテーマに、人材の確保、社員一人ひとりのレベルアップを一層図っていき、皆様のご要望に的確にこたえてまいります。

輸送以外のことでも、どんなご相談でもお気軽に声をかけて頂ければ幸いです。私達は感謝の心で、お客様のお困りごとを解決する会社を目指しております。



社長 竹原正和



「箱根駅伝」で思うこと

2017年の新しい年が始まりました。

今年は酉年で、すべての皆様が鳥のように飛躍されるすばらしい年になりますようにお祈り申し上げます。

今年もまた、手に汗を握りながらTVの前に釘付けになってしまう箱根駅伝は、今や正月の風物詩になっています。

秋の出雲路をかけ抜ける「出雲駅伝」晩秋の伊勢路を駆け抜ける「全日本大学駅伝」。箱根を加えた「学生3大駅伝」を制覇しようと三冠を目指して挑戦する青学大の姿は感動せずにはおれませんでした。この、箱根駅伝をめざす大学は関東学生陸上競技連盟に登録している約150校が数々の大会を勝ち抜くなどをして、箱根駅伝を目指し、高いハードルに挑戦して来る訳です。そのうち、箱根に出場出来るチームは上位20校だけなのです。TVに放映される20チームの選手達は多くの人目に触れますが、それはわずかな一握りの大学な訳です。毎回強豪がしのぎを削る中で、毎回上位に喰いこんで行くということは至難の業だと思います。選手達が毎日毎日練習を重ね、自分の「目標」「目的」をしっかりと持ち、1年先、2年先、東京オリンピック目指して、自分はこの選手になるのだという「目標」と「夢」を多く持った選手の多い大学は延びるのだと、原監督(青学大)はインタビューで答えているのを見せてもらう中で「内助の功」自分の妻の事を忘れず、妻は合宿所で寮母を務めて、選手を陰で支えてくれたのだと、妻をたたえる事も決して忘れてはいませんでした。

駅伝の場合は個人プレーではなく、チームの力も大切になって来る訳です。駅伝に出場できる選手は10人だけですが、本当は裏方がいて、チーム全員で戦っているわけです。ラップタイム係、給水係、中継点で選手に付き添う係など、全員が一つになっていなければ駅伝は戦って勝てないのです。皆が一つになって戦えるチームが、本当に強いチームなのです。ここで、チームの一体感が必要になって来る訳です。

私がいつも思っているのは、私達物流にたずさわっている者は、駅伝の選手と同じであり、拠点から拠点へタスキ(荷物)を継ぐ、仕事などのタスキはただの布ではないのです。全員(竹原運輸)の汗と努力を込めて名前を刻みこんで、次から次へと託して行く。一つの荷物を目的地に(お客様)に大切に届けていくこと。まったく相通ずることが同じだと思っています。当社は今、社長以下全員参加で「スリーセブン大作戦」コンテンツを実施中です。7人1組で「無事故」「無違反」を目指してのチーム戦での挑戦です。社長から「期間中楽しく仕事をしよう」「コミュニケーション」をしっかりとろう、高めよう、達成することは大変だけれど、苦しいだけではない「大変だけど楽しい」。このような体験を通じて、駅伝の選手のように、結束力を高め、目標に向かって行こうと、目標の達成(無事故、無違反、無災害)に頑張っています。



斉藤 洋一



新年を迎え新春のお慶びを申し上げます。本年も竹原運輸と 5963 ハート通信にご愛顧賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

暮れと年始の慌ただしさも一段落といったところでしょうか。皆様におかれましては良いお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。近年の正月は正月らしさがなくあっという間に三が日が過ぎてしまいます。元日から殆どのサービス業が営業し普段と何ら変わりがないからでしょうね。TVを観ているときだけ正月らしさを感じます。

そんな中、大手の百貨店では元日から営業、2日から営業、3日から営業と独自の営業展開で初売りの工夫をし客のハートを掴んでいるようなのです。3日が初売りの百貨店では従業員の経費と過労（ストレス）を重視しているとの報道もありました。たしかに元旦から営業していただくと消費者としては大変便利ですが、働いている人は大変です。いろんな視点から休日を決定する責任者のご苦労はもっと大変かもしれません。

正月らしさはどうでしょうか？元旦は休み？でしょうか。初売りだから1日なのでしょうか？・・・答えはありません。どの百貨店も初売り日に大勢の客で賑わっているのは事実ですから。ただ続けていただきたいですね。消費者もお店も。

私の今年の目標は「続ける」ということです。どんな小さなことでも毎日続けられることは自分のルーティーンとして実施し、一週間に一度のことでも月一のことでも「続ける」ということです。私の性分上、難しいこととは思いませんが続けます。悪い習慣はなるべくしないようにして。

本年もご指導の程宜しくお願いいたします。

池上則和





新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご厚誼を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、昨年10月30日より開催していた当社独自の無事故・無違反・無災害コンテスト【スリーセブン大作戦】が77日間の期間を終え1月14日に無事終了いたしました。

協力会社様を合わせて全18チームが目標（無事故・無違反・無災害）を達成することは残念ながらできませんでしたが、殆どのチームが達成する結果となりました。

今回の【スリーセブン大作戦】の目的は、無事故・無違反・無災害は目的の一つですが、それと、“社内全体のコミュニケーションを図る”という大きな目的がありました。

無事故については、全チーム達成はなりませんでしたが、コミュニケーションを図るということについては、各チームとも十分な成果があったのではないかと思います。

コミュニケーションの取り方については、主にリーダーが毎日チーム員に電話にて安全運行の声掛けをするということが多かったようですが、チームによっては、月に一度の食事会をするなど、とても盛り上がっていたチームもありました。

今回この【スリーセブン大作戦】により、同じ会社に勤めていても会うこともなく、会っても全く話すこともない人と、この企画を通してチーム員同志で安全運行の声掛けだけでなく、世間話も気軽に話ができるような人間関係を作ることができました。今年も引き続き、当社独自の楽しく明るく全社員参加の安全に対するいろんな企画を考え、開催していきたいと思っております。

どうか本年も竹原運輸を宜しくお願い致します。

大橋 哲夫



新年、あけましておめでとうございます。

昨年は大変お世話になりありがとうございました。

本年も宜しくお願い致します。

年末年始に家族で京都に帰った時の話ですが、毎回、帰るたびに「両親に子供の顔を見せるのが今回で最後になるのかな」と思っています。

私はというと、4か月ぶりに娘に会うのが一番の目的でしたが、バイト先の忘年会で夜中まで帰って来ず、相変わらず冷たい対応でした。

しかし、今回は娘が可愛がっていた犬も連れて帰り「喜ぶだろうなあ」くらいの軽い気持ちでいたのに、夜中に帰ってきた娘は嬉しさのあまり声を出して泣いたそうです。

強がっていても、寂しい時や辛い事等自分なりに乗り越えているんだなど、娘の成長を実感する場面でした。

残念なことに、私はお風呂に入っていてその成長を見るができなかったのですが・・・いろいろな事を頑張っている娘を陰ながら応援していきたいです。



辻川 伸吾



新年あけましておめでとうございます。

新しい一年が始まりました。

世の中、いろいろな事件や事故のニュースが絶えないですが、去年一年を振り返ってみますと、アクセルとブレーキの踏み間違えの事故や高速道路の逆走といったことなど、よくきいたような気がします。高齢者の方も増えて来て、こういった事故がこれからどんどん増えていくような気がします。

事故のニュースが多かったので去年は事故件数が増えたんだろうと思っていたのですが、どうやら少なくなっているようです。

今年に入って、金融庁が発表した自賠責の保険料が4月から値下げになるそうです。これは、事故が減って収入が黒字になったからだそうです。最近は、自動ブレーキや自動運転などの安全装備の技術が格段に向上し普及した事により事故が減ってきているそうです。この先、20年後、30年後にはもしかすると車の事故は無くなるかもしれませんね。

谷口 学

新年、明けましておめでとうございます。

お正月は、いかがお過ごしだったのでしょうか。

新年になっても積雪がなく、初詣などで出掛けた時は、道路もスムーズに流れていました。例年だと、駐車場の端に雪山を見かけたのですが・・・

雪国にとっての風景だったのに、少し寂しい気がしました。今年も体調管理をしっかりと、安全第一を考え、皆様から笑顔を頂ける様に頑張っていきます。

今年一年、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

越 邦治





明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。

皆様は年末年始どのように過ごされましたでしょうか？我が家では昨年長男が結婚し、大晦日に全員揃ったので夕食に焼肉、お酒と楽しい時間を過ごすことが出来ました。（その代償と言ってはなんですが、焼肉の臭いが1週間以上消えませんでした。）

また、3日は雨でしたが主人と年男の次男と私で何年かぶりに初詣に出掛け、のんびりとしたお正月でした。去年は子供達の車事故があったので、今年は事故がないようにと祈ってきました。

まだまだ寒い日々が続きますが、風邪を引かないよう体調には十分気をつけて下さい。次回ハート通信を書く頃には桜の季節となっております。待ち遠しい限りです・・・・・・

吉川 佳代

新年、明けましておめでとうございます。

皆様はどんな年末年始を過ごされましたか？いい年末年始でしたか？

私は年末から実家に帰り、ゆったりとした穏やかな時間を過ごしました。何を食べてもおいしい、何年たっても実家（母の料理）はいいなあと思いながら、ずっとごろごろしていました。唯一出かけた所と言えば、パワースポットでもある『若狭彦神社』と『若狭姫神社』に家族で行って来ました。家から遠くはないので、出かけたとまでは言いにくいのですが・・・・。邪気を払い強いパワーをいっぱいもらってきました。このパワーで一年を楽しく過ごしていきたいとおもいます。

今年もどうぞよろしく願いいたします。



水谷 有基

次回 お楽しみに・・・・